

令和 8 年度

第 2 回 三種町国民健康保険運営協議会

会 議 録

日時：令和 8 年 8 月 2 4 日（月）

午後 1 時 2 5 分～午後 1 時 5 0 分

場所：三種町役場 第 1 会議室

1. 委員定数 9名（定足数5名）

2. 出席及び欠席委員

○出席（8名） 加賀谷道則、佐々木里史、加賀谷由美子、大渕宏道、
戸松大輔、川村美樹子、工藤春信、船木政廣

○欠席（1名） 菊地次郎

3. 議事録署名員及び書記

議事録署名員 大渕宏道委員、加賀谷由美子委員
書記 健康推進課 課長補佐 牧野和歌子

4. 事務局側出席者

町長 田川政幸

健康推進課 課長：大高博充、課長補佐：牧野和歌子、係長：田中友樹、
主席主査：熊谷幸樹

税務課 課長：三浦幸綱、主事：清水音色

5. 開会 午後1時25分

大高課長：

定刻前ではございますが出席予定の委員の皆様がお揃いですので、ただいまから
令和8年度第2回三種町国民健康保険運営協議会を開会いたします。

本日は、9月議会定例会前に、国民健康保険事業勘定特別会計の令和7年度決算
状況、及び令和8年度の9月補正予算（案）についてお謀りさせていただきたく
開催させていただきました。

どうかよろしくお願いいたします。

それではお手元の次第に従いまして進めさせていただきます。

はじめに船木会長から会長あいさつをお願いいたします。

6. 会長あいさつ

船木会長：

暑い中、ご出席くださりありがとうございます。

ただいま課長から報告のありました2件について、本日の議題といたします。

どうぞよろしくご審議のほどお願いいたします。

大高課長：

ありがとうございます。

続きまして、田川町長からあいさつをお願いいたします。

7. 町長あいさつ

田川町長：

今日は令和8年度の2回目の三種町国民健康保険運営協議会ということで、委員の皆様には、大変ご多忙の中、ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

そして日頃から、国保事業運営については、皆様から大変なご協力をいただいておりますことを、この場を借りてお礼申し上げたいと思います。

6月に行われた1回目の運営協議会では、今年の税率改正について、皆様からご意見をいただいて、下げる方向で決めさせていただきました。

ただ、町民の皆様の、被保険者の皆様の、収入の上がり下がりによっては、また動きがありそうな雰囲気にもなってきておりますので、委員の皆様からは、その都度ご意見をいただきながら、適正な税率をめざしていきたいと思っておりますので、引き続きお願いしたいと思っております。

いずれこの制度をしっかりと支えて、将来にわたって健全な運営に取り組んでいきますよう、被保険者の負担軽減を図りながら、安定的な財政運営のバランスをとっていきたいと思っております。

そういった意味では、繰り返しになりますが、委員の皆様には、その都度ご意見をいただきたいと考えておりますのでよろしくお願いしたいと思います。

今日は、先ほど事務局そして会長からもお話ししたとおり、令和7年度の決算と今年度の補正予算の2件についてお願いしております。

最後まで慎重な審議をお願い申し上げまして、私のあいさつとさせていただきます。

今日はどうぞよろしくお願いいたします。

大高課長：

ありがとうございました。

この後は、三種町国民健康保険運営協議会規則第6条の規定によりまして会長が議長として議事を統理することとなっております。

船木会長にお願いしたいと思います。

8. 会議成立の報告、議事録署名員及び書記の選任

船木会長：

それでは次第に沿って進めていきます。

本日は委員定数9人のうち8人が出席しておりますので、三種町国民健康保険運営協議会規則第3条の規定により会議が成立しております。

次第の4、議事録署名員及び書記の選任についてでございますが、議長において指名したいと思いますが、ご異議ございませんか。

・・・（異議なしの声あり）・・・

異議なしの声がございますので、議事録署名員には、大淵宏道委員並びに加賀谷由美子委員を、書記には健康推進課課長補佐 牧野和歌子さんを指名いたします。よろしく願いいたします。

9. 報告事項

（1）令和7年度国民健康保険事業勘定特別会計決算状況について

船木会長：

次に報告事項を議題にいたします。

令和7年度国民健康保険事業勘定特別会計決算状況について、事務局より説明をお願いします。

田中係長：

それでは私の方から令和7年度決算状況について、資料1を使いまして説明いたします。

資料1 1ページ目をご覧ください。

はじめに歳入について説明いたします。

1 款 国民健康保険税

現年度分の収入済額の計が3億2,537万3千円、滞納繰越分の計が584万7千円、合わせて3億3,122万円です。

収納率は、93.13%となっており、前年度より1.3ポイント増加しております。

不納欠損額は、368万2千円で、前年度より82万8千円増加しております。

2 款 使用料及び手数料は、督促手数料8万700円です。

3 款 国庫支出金

社会保障・税番号制度システム整備費等補助金として5万8,000円が交付されておりますが、これは、マイナンバーカードの周知チラシを作成したものに係

る交付金です。

4款 県支出金

普通交付金は、保険給付費に係る財源として、県から14億3,061万9千円が交付されています。

特別交付金は、特定健診、糖尿病予防等の保健事業や収納対策などの国保運営に係る財源として、備考欄に記載の内訳のとおり交付されており、

5,723万3千円です。

福祉医療基盤強化補助金は、療養給付費負担金や調整交付金の算定の際、マルフクで支給される額が減額調整されるので、その減額分の1/2が県から交付されるものです。

令和7年度は、603万円です。

残りの1/2は、町の一般会計から繰入れています。

5款 財産収入は、財政調整基金利子27万3,785円です。

6款 繰入金

一般会計繰入金は、1億2,724万3千円です。

内訳は、出産育児一時金が、支給額500,000円の3分の2の額です。

保険基盤安定対策と財政安定化支援は、事業費納付金の財源として繰入れています。

事務費は、歳出の総務費に係る財源として繰入れています。

福祉医療波及分は、さきほど説明した福祉医療基盤強化補助金の町負担分の1/2の額です。

特定健診、未就学児均等割軽減、産前産後軽減については、それぞれ、支出又は軽減に応じた額を繰入れています。

7款 繰越金

前年度繰越金2,113万6千円です。

8款 諸収入

国保税の延滞金や第三者行為納付金、保険者間調整等による返納金等が、合わせて187万円です。

以上、歳入の合計は、19億7,576万3千円です。

次に、2ページ目をご覧ください。

歳出について説明いたします。

1 款 総務費

国保事業における事務経費や委託料等、1, 882万4千円支出しております。

2 款 保険給付費

療養給付費は、通常の保険診療に対する国保負担分で、支出額は、

12億1, 045万6千円、前年度比1. 02%増です。

療養費は、本人がいったん立て替えて後から国保で払い戻すもので、支出額は、729万8千円、前年度比14. 84%減です。

審査支払手数料は、医療機関からの請求の審査を国保連合会に委託している手数料で、支出額は、381万円4千円です。

高額療養費は、医療費の自己負担が高額になった時に一定額を超えた分を国保が負担するもので、支出額は、2億2, 107万4千円、前年度比4. 37%増です。

3 款 国保事業費納付金

県へ支払う納付金で、医療給付費分、後期高齢者支援金分、介護納付金分、合わせて3億9, 467万5千円です。

6 款 保健事業費

国保の保健事業費で、特定健康診査等事業費1, 611万5, 720円、糖尿病重症化予防対策事業費446万2, 700円で、合わせて2, 057万8千円です。

7 款 基金積立金

財政調整基金9, 243万円を積立てております。

9 款 諸支出金

過年度分保険税の還付、保険給付費等交付金返還金、還付加算金など、合わせて150万1千円です。

以上、歳出の合計は、19億7, 676万3千円となり、歳入との差額210万1千円が令和8年度への繰越額となります。

次に、3ページ目をご覧ください。

決算の概要について説明いたします。

1 (1) の表をご覧ください。

(C) 欄に令和7年度の歳入歳出差引額210万1千円と記載していますが、こ

れに（D）（E）（F）欄の、前年度実質収支を差し引き、基金積立額を加え、基金取崩額を差し引いた額が実質単年度収支となり、令和7年度は、7, 339万5千円の黒字です。

（2）の表は、財政調整基金に関する表です。。
令和7年度末残高は2億2, 521万2千円です。

4ページ目をご覧ください。
ここでは、歳入歳出の科目の割合を、カラーの円グラフで表しています。
歳入の75.6%が国・県支出金、歳出の73.2%が保険給付費という状況です。

次に、5ページ目をご覧ください。
こちらは、被保険者数と世帯数をまとめたものです。
被保険者数、世帯数のどちらも減少しており、年度末現在の比較では、被保険者数は161人の減、世帯数は65世帯の減です。

次に、6ページ目をご覧ください
国保税の税率及び税額についてまとめています。
令和7年度は、税率の改正を行いました。所得の伸び等により令和7年度現年度分の収入済額は、3億2, 537万3千円で、前年度比2, 809万7千円増となっております。
1世帯当たりの調定額と、1人当たりの調定額も対前年度比で増加しています。

次に、7ページ目をご覧ください。
保険給付費についてまとめています。
令和7年度の支払状況は、療養給付費等12億965万9千円、前年度比1.04%増、療養費等729万6千円、前年度比14.87%減、高額療養費2億2, 098万3千円、前年度比4.35%増です。
国保加入者の出産に伴う出産育児一時金については1件50万円、国保加入者の死亡に伴う葬祭費については47件235万円です。

続きまして、8ページ目をお開きください。
医療費についてまとめています。
令和6年度と比較しますと、全体の件数や費用額が減少していますが、被保険者数も減少しているため、1人当たり費用額が増加しています。

次に、9ページ目をご覧ください。

保健事業についてまとめています。

（１）①特定健康診査の受診率については、令和６年度は４４．０％、令和７年度は４２．６％で減少傾向です。

未受診者へは受診勧奨を行っているものの、受診率が高く人数も多い高齢者層が後期高齢者医療へ移行しているのが要因の一つとして捉えています。

②特定保健指導は、健診結果からメタボリックシンドローム又はその予備軍と判定された方への保健指導で、令和７年度の暫定の実施率は、１０．４％です。確定値は１０月頃になる見込みで、最終の実績としてはもう少し上がる見込みです。

（２）糖尿病重症化予防対策事業は、町保健師による受診勧奨や委託による保健指導プログラムを行っています。

保健指導プログラムは毎年参加者が少なく、令和７年度は勧奨者数を増やしてみましたが、４名の参加でした。

１０ページ目をご覧ください。

（３）ジェネリック医薬品差額通知事業の説明になります。

ジェネリック医薬品への切り替えにより、薬剤費軽減額が３００円以上となる対象者へ、通知により切り替えを促す事業となります。

令和４年度から国保連へ委託し、８月と２月の年２回、ジェネリック医薬品差額通知を発送しております。

ジェネリック医薬品普及率については、令和７年度末で８７．０％となっています。

下段の「③切替効果額」について、令和４年度から比較すると金額が少なくなってきましたが、切り替えが進んできたため、新たに通知される対象者が少なくなってきたためと思われます。

決算状況の説明については、以上です。

船木会長：

事務局の説明が終わりましたが、これよりご意見をお聞きしたいと思います。

何かご意見ありませんか。

よろしいですか。

・・・（異議なしの声あり）・・・

船木会長：

それでは、これをもって報告とさせていただきます。

１０．協議事項

（１）令和８年度国民健康保険事業勘定特別会計９月補正予算（案）について

船木会長：

次に、令和８年度国民健康保険事業勘定特別会計９月補正予算（案）について、事務局より説明をお願いします。

田中係長：

つづきまして、９月補正について、資料２を用いて説明いたします。
はじめに歳入から説明いたします。

６款繰入金、▲４０万円は、歳出の事務費減額に伴う減額です。

裏面【歳出】をご覧ください。

１款 総務費で子ども・子育て支援創設対応負担金が４０万円減額となっていますので、この財源としていた繰入金を減額しているものです。

表面の歳入に戻ります。

７款繰越金は、前年度繰越金２１０万円の増です。

以上、歳入合計１７０万円の増額補正です。

つづきまして裏面をご覧ください。

歳出について説明します。

１款 総務費については、先ほど説明しましたので割愛させていただきます。

９款 諸支出金は、令和７年度の保険給付費等交付金の実績により返還が生じたため、４６万９千円の支出となります。

歳入・歳出の調整を７款 基金積立金で１６３万１千円を増額しております。

以上、歳出合計１７０万円の増額補正です。

９月補正予算についての説明は、以上です。

船木会長：

事務局の説明が終わりましたので、これより質疑を行います。

ご質問ありませんか。

特別なければ本案を原案のとおり決することに意義ありませんか。

・・・（ 異議なしの声あり ）・・・

異議なしの声がありますので、本案については、原案のとおり決することに決定

しました。

本日予定した次第が全部終了しましたが、その他、何かございませんか。

11. 閉会

午後1時50分

船木会長：

予定した次第が全部終了しました。

以上をもちまして令和8年度第2回三種町国民健康保険運営協議会を閉会いたします。

この会議の顛末を記載して相違ないことを証明するために署名する。

令和8年8月24日

議事録署名員	会 長	船木 政廣
--------	-----	-------

委 員	大渕 宏道
-----	-------

委 員	加賀谷 由美子
-----	---------